

2022年度 | 環境経営 Report

(対象期間：2022年10月1日～2023年9月30日)



発行日：2023年11月30日



エコアクション21[®]
認証番号0012984



 株式会社 青木工業所

目 次

項 目	ページ
環境経営理念及び方針・行動指針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績・環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
代表者による全体の評価と見直し指示	11



経営理念

・技術の向上に努め、お客様に喜ばれる製品・サービスを提供し、
水環境保全の向上に努め、豊かな社会に貢献する。



環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 省エネルギーを念頭に業務に取組み、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等、廃棄物量の削減に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 適正な利用により、化学物質の使用量削減に努めます。
6. 工場内の整理整頓清掃(3S)で安全で効率的な職場環境を目指します。
7. 環境への取組みを環境活動レポートとしてまとめ、公表します。
8. 環境に配慮した製品をお客様にお届けすると共に、社会貢献の自覚を忘れません。
9. この環境方針をすべての社員に周知徹底し、環境経営の改善を継続的に進めていきます。



制定日：2019年11月30日

改訂日：2023年1月13日

株式会社 青木工業所



代表取締役

岩井 順子

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 青木工業所
代表取締役社長 岩井 順子
- (2) 所在地
本社・工場 東京都品川区南品川四丁目16番13号
HP: <https://www.aoki-kg.co.jp/>
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 営業部営業技術課 北嶋 実 TEL: 03-3450-4671
担当者 管理部 小林 美佐子 FAX: 03-3450-4719
kobayashi@aoki-kg.com
- (4) 事業内容
排水処理機器および部品の製造・販売・点検修理
防火扉の部品製造
- (5) 事業規模
資本金 1,100 万円
延べ面積 696.5 m²
- (6) 事業年度 10 月 1 日 ~ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 青木工業所 本社工場
対象事業所： 東京都品川区南品川四丁目16番13号

対象事業活動： 排水処理機器及び部品の製造・販売・点検修理
防火扉の部品製造

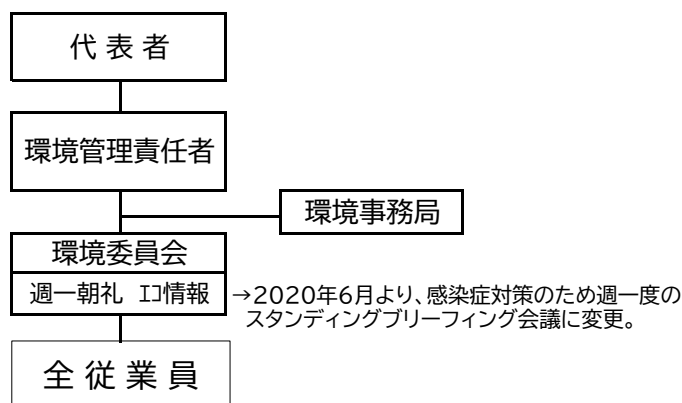
□事業や製品(商品)の紹介

弊社は「スクリーン」と呼ばれる排水処理機器を製造しております。
「スクリーン」は、排水処理工程において、排水に含まれる夾雑物(固形物)を除去する機械装置です。
設置場所は製造工場、処理施設、浄水場、テーマパーク、研究所など様々です。
弊社は使われる場所や条件によって可能な限りのカスタマイズに対応させていただいております。



製品施工例

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役 割 ・ 責 任 ・ 権 限	
代 表 者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境委員会	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
全 従 業 員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
	・職場環境やエコ活動につながるアイデアを積極的に提案

□主な環境負荷の実績

項 目		単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素総排出量		kg-CO2	72,534/年	67,945/年	51,760/年	1,3123/年
廃棄物 排出量	一般廃棄物排出量	kg	1,055/年	1,145/年	877/年	1,125.8/年
	産業廃棄物排出量	kg	1,660/年	1,560/年	450/年	0/年
水使用量		m³	327/年	346/年	324/年	325/年

2021年度まで電気の二酸化炭素排出係数 0.458 kg-CO2/kWh

2022年度から電気の二酸化炭素排出係数 0.000 kg-CO2/kWh

□環境目標・実績

項 目 名	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (2023年)			評 価		2023年度 (2024年)	2024年度 (2025年)
		基準値	実 績	実 績	目 標	実 績	目標値比	目標値より低い値→○ 高い値→×		目 標	目 標
		前々々年度	前々年度	前年度	2019年度 実績の2%減 (化学物質以外小 数点切上)	今年度				2019年度 実績の3%減 (化学物質以外 小数点切上)	2019年度 実績の4%減 (化学物質以外 小数点切上)
CO2排出 量 ※1	kg-CO2	72,538	67,945	51,760	71,116	13,123	18.5%	○	57,993kg-CO2 減	70,425	69,748
電力使用量 ※1	kWh	121,418	111,252	80,071	119,037	95,868	80.5%	○	23,169kWh 減	117,882	116,748
自動車燃料 使用量	ガソリン ℓ	3,756	3,657	3,671	3,682	4,147	112.6%	×	465ℓ 増	3,647	3,612
	軽油 ℓ	1,352	1,465	961	1,325	628	47.4%	○	697ℓ 減	1,313	1,300
灯油	ℓ	970	1,132	846	960	756	78.7%	○	204ℓ 減	942	933
一般廃棄物 排出量 ※2	kg	1,055	1,145	877	1,034	1,125.8	109%	×	91.8kg 増加	1,024	1,014
金属端材 (売却分) 排出量	kg	23,118	12,310	2,992	22,665	8,980	40%	○	13,685kg 減	22,445	22,229
		SUSのみ (8,523)	SUSのみ (5,971)	SUSのみ (2,832)		SUSのみ (8,277)					
水道水使用量	m³	327	346	324	321	325	101.4%	×	4m³ 増加	317	314
化学物質使用 量 <シンナー>	kg	26	32	30	26	25	96%	○	1kg 減	26	25
産業廃棄物排 出量	kg	1,660	1,560	450	1,627	0	0%	○	1,627kg 減	1,612	1596
3S活動	—	—	20/30項目	8項目	15項目	3項目	20%	×	満足に取り組み なかった		

評価は、実績値/目標値を%で表す。目標値より低い値で100%以下なら目標達成『○』、以上の場合は未達成『×』。
また、一般廃棄物排出量と化学物質使用量に関しては、目標である実績把握が出来れば『○』とする。

※1 2022年度よりCO2排出係数<アーバンエナジー(株)/ゼロエミッションプラン> = 0.000kg-CO2/kWh

※2一般廃棄物については、事業系可燃ごみ45リットル1袋=9kg、事業系不燃ごみ45リットル1袋=12kg、事業系資源ごみ45リットル1袋=2kg(2020年9月30日計測)



未達成項目+見直し項目完了し、安全で快適な職場環境を実現する

作成日2023/11/26 事務局:小林

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

活動評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

■電力

電力による二酸化炭素削減	取組結果とその評価、次年度の取組計画	達成状況
・空調温度の適正化+扇風機併用	今期は再エネ100%の電力プランなので、当然ながら二酸化炭素の排出量はゼロである。 だからと言って、湯水のように使っているのは電気料金の値上げと相まって大変なことになってしまう。 やはり省エネが不可欠である。 昨年からの流れで、基本的な省エネの意識は個々に定着したようで、特に注意喚起しなくても自然とできているように思われる。 エアコンのフィルターと照明器具の清掃は、担当者が毎月の最終週にやると決め、滞りなく実行している。	◎
・不要照明の消灯励行		◎
・エアコンフィルター、照明器具の定期清掃(毎月)		◎
・空調服の積極活用<夏季>		◎
・レーザー作動前のコンプレッサーOFF		◎
・待機電力の抑制		○
・蛍光灯箇所が切れたらLEDへ		×

■ガソリン・軽油

自動車燃料による二酸化炭素削減	取組結果とその評価、次年度の取組計画	達成状況
・エコドライブ励行	2tトラックを廃車にしたことにより、軽油の使用量は圧倒的に減少している。 しかし、遠方の出張が多かったこともあり、ガソリンの使用量がかなり増えている。 なるべく燃費のいいハイブリッド車両を使用すると共に、燃費の悪い古いガソリン車両をハイブリッドに乗り換えることを検討している。 タイヤの空気圧点検に関しては、エアチェッカーを導入し基本毎月点検している。	○
・効率的なルート(ついでに！を大事に。)		○
・夏場のサンシェード使用		◎
・タイヤ履き替え、空気圧点検		◎

■一般廃棄物

一般廃棄物の削減	取組結果とその評価、次年度の取組計画	達成状況
・電子利用によるペーパーレス化	世の流れに沿って、書類の電子化やクラウドの活用等を意識的に進めているが、それに対応しきれない社員や取引先があるのも事実である。 インボイス云々との絡みもあり、今後の課題である。 今期からプラ資源ごみの分別を始めたが、特に問題なく実行できている。	○
・裏紙、ファイル等再利用		◎
・小さく丸める、切る		○
・プラスチック資源ごみ分別(ハットボトル・ラベル・キャップ)		◎

■産業廃棄物・金属端材売却資源分

端材の削減	取組結果とその評価、次年度の取組計画	達成状況
・端材量削減努力	昨年に引き続きレーザー加工の工程を一括管理して、ロスの削減に努めている。 しかしながら、大型製品の受注が多かった為、どうしても端材が多く発生してしまい、2019年比の目標を下回っているとは言え、昨年度の2倍以上の数値となってしまった。 生産量や売上が増えていることを考えれば納得できるものではあるが、それに甘んじることなく一層の削減に努めたい。	○
・図面、工程確認		◎

■水

水道水の削減	取組結果とその評価、次年度の取組計画	達成状況
・節水	誤差の範囲とも言えるが、使用量は微増している。 大型製品の生産が多く、溶接焼け落し後の水洗いに多くの水を使ったことが原因と思われる。	×

■化学物質

化学物質使用量適正管理	取組結果とその評価、次年度の取組計画	達成状況
・火気厳禁箇所での保管	例年並みの数値ではあるが、目標を達成できている。 現状スプレー容器に名称のラベルを貼って他と区別しているが、来年度はGHSに対応するラベルに変更し、化管法に沿った管理をしていきたい。 来年度では、エコシンナーを試験導入し、洗浄力に遜色ないことが確認できたら、切り替えを検討していきたい。	◎
・特定化学物質使用量把握		◎
・使用ボトルのラベリング		◎

■3S

工場内の整理整頓	取組結果とその評価、次年度の取組計画	達成状況
・前年度の残留項目を中心に活動を継続	消防庁とEA審査員の指摘を受けた事項を中心に計画を立て、各担当者との打合せをし、全員参加の前提で臨んだが、業務が忙し過ぎて実行できた項目が少なかった。 来年度は無理のない計画を立て、実行していきたい。	△
・消防庁の立ち入り検査を踏まえての改善		△

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃油等）委託基準、保管基準、マニフェスト伝票保管・管理
騒音規制法	空気圧縮機、空調室外機・クレーン等
振動規制法	空気圧縮機、空調室外機・クレーン等
消防法	危険物の保管・消防設備点検
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	品質管理
東京都環境確保条例	認定工場・エコドライブ・アイドリングストップ励行・騒音・振動規制
プラスチック資源循環促進法	ペットボトルキャップ、ラベル分別・宅配弁当利用（使い捨て弁当箱不使用）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等、近隣からの苦情も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し指示

実施日： 2023年11月30日

担当者による地道な啓発活動の成果もあり、年を追うごとに各々が自然に日常の中で環境への配慮に取り組み、それが共通認識となり、とても良いベクトルが向いていると実感します。

ただ売上が上がれば、自ずと製造原価が上がり、消費電力も上がるということは致し方ないと思う反面、製造工程の中で、非常に効率の悪い機械の使用をしているなどが存在し、まだまだ節電できるところがあると確信しました。どんなにエコ活動への理解や意識があっても、技術的な知識や効率を追い求める姿勢が持ち合わせていないと、いつまでたっても見せかけのエコ活動になってしまいます。

次年度は数字に表れる本気のエコ活動を目指します。

代表取締役 岩井 順子



- 環境経営方針

☒ 変更なし

☐ 変更あり
- 環境経営目標・計画

☒ 変更なし

☐ 変更あり
- 実施体制他

☒ 変更なし

☐ 変更あり